

第4回松本市平和三行詩コンクール
入賞作品

【 小学生の部 】

○最優秀賞

「ロシアとウクライナの戦争が終わりますように」
3年前、七夕の短ざくに書いたぼく
今はほとんど考えない、なれるってこわい。

吉村 高連 (才教学園小学校4年生)

○優秀賞

いつまでも忘れない 決して忘れてはいけない。
つないでくれた熱いたましいとこの命。
今を、今日を、精一杯生きる。

茶原 光希 (安曇小学校6年生)

難民キャンプで過ごす同い年のあの子の夢
ぼくなりのお援の気持ちを「松本だるま」のはり絵で届けた
平和な世の中になって、まんまるな両目がかかれますように
荒井 樹人 (清水小学校6年生)

【 中学生の部 】

○最優秀賞

次の世代が笑顔でいられるように
進化するのは武器じゃなくて心
私達のねがいは一つの「平和」

倉科 舞花 (松島中学校3年生)

○優秀賞

小さな私が大きな声で叫んでもきっと声は届かない
だけどみんなと一緒に叫んだら、
耳をかたむけてくれる誰かが必ずいる

大城 胡桃 (安曇中学校1年生)

”平和”ってなんだろう。

色々思いつくけれど、

この詩を書けている”今の平和”を守りたい。

池口 龍之介 (松島中学校3年生)

【 一般の部 】

○最優秀賞

8月6日に被爆した少女の願いは「もう一度思いきり走るこ
と」

叶わなかったその祈りに世界中の人々が今も代わりに鶴を折
る

核無き世界の実現のために

岩下 忍

○優秀賞

打ちっ放しのコンクリートの建物の中に入ると、八十年前の画
学生の賑やかな声が聞こえてくる。

残された時間のなかで、最愛の妻や恋人を、大好きなふるさと
を絵に遺し、出征していった若者たち。

繊細な色づかいや構図は、あなたの思いを現代の私たちに伝え
ている。あなたの遺した絵を前にし、私は今年も「不戦」を誓
う。

穂苺 真泉

家の壁に大婆ちゃんの写真が掛けられている。

白の看護服を着て、太陽みたいな笑顔で私を見ている。

苦しかった戦争中は、あの笑顔で大勢の兵隊さんたちに、懸命
に寄り添ってあげていた気がする。

岩原 未空

【 松本ユース平和ネットワーク賞 】

少しだけ

となりの人にやさしくしたら、

今よりもっと世界は良くなる

平津 祐太 (筑摩小学校4年生)